

平成18年度事業計画

- 1 標準規格の採択: 会員各団体から申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、「医療情報標準化指針」を策定する。
今年度は、各団体からの申請以外に、標準臨床検査項目コード、J-MIX(情報項目交換セット)、JJ1017指針(HIS-RIS-PACSモダリティ間情報連携指針)などを焦点として申請可能かどうか各団体と協議し、可能であれば申請してもらい審議を進める。
また、すでにHELICS規格となったものについても、更新などその後の運用に問題がないか検討する。
- 2 情報の提供: 標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を各会員団体に依頼し、特にISO/TC215での動向や、IHE-J、HL7の動向の概略を要約して掲載し、周知を図る。
- 3 標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催
7月総会時に東京で講演会を開催する。
第4回HELICSシンポジウムを医療情報学連合大会時に開催する。
- 4 HELICS協議会を説明するパンフレットを、関連団体や学会で配布する。
- 5 IHE-Jの活動との連携・情報交換を推進する。

2006年度(平成18年度)収支予算(2006.4.1～2007.3.31)

1 収入の部

科 目	2006年度予算額	備考
1.財産運用収入	0	
2.会費収入		
正会員	250,000	5万円×5団体
幹事会員	600,000	10万円×6団体
3.事業収入	0	
4.雑収入	0	
小計	850,000	
前年度繰越金	2,280,596	
当期収入合計	3,130,596	

2 支出の部

科 目	2006年度予算額	備考
1.事業費		
シンポジウム	500,000	会場費、講師旅費など
2.管理費		
会議費	60,000	
印刷費	30,000	
消耗品費	10,000	
通信運搬費	10,000	切手代
交通費	200,000	理事会など
雑役務費	20,000	振込手数料など
3.予備費	20,000	
小計	850,000	
次年度繰越金	2,280,596	
当期支出合計	3,130,596	